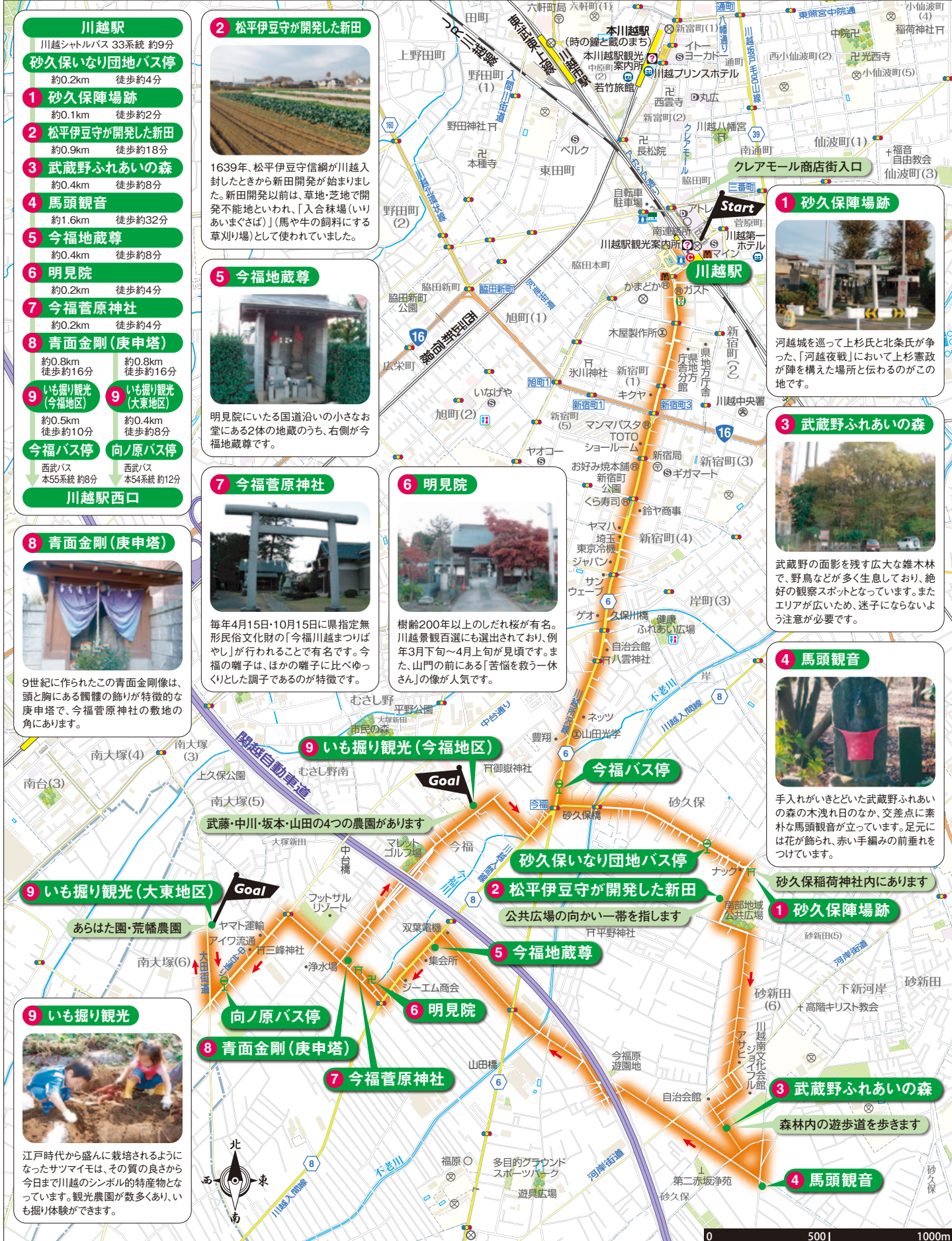


# 武蔵野ふれあいの森と野仏散策コース

歩行距離 約5.3km  
 所要時間 約1時間46分  
 施設の見学時間は含まません

川越南部を中心に田園や森林を散策し、その道中にある野仏をめぐるコースです。どの仏像もひっそりと佇んでいるので、宝探しに似た気分が味わえます。

シーズン：通年  
 移動手段：徒歩・バス



- 川越駅**  
 川越シャトルバス 33系統 約9分  
**砂久保いなり団地バス停**  
 約0.2km 徒歩約4分
- 1 砂久保陣場跡**  
 約0.1km 徒歩約2分
  - 2 松平伊豆守が開発した新田**  
 約0.9km 徒歩約18分
  - 3 武蔵野ふれあいの森**  
 約0.4km 徒歩約8分
  - 4 馬頭観音**  
 約1.6km 徒歩約32分
  - 5 今福地藏尊**  
 約0.4km 徒歩約8分
  - 6 明見院**  
 約0.2km 徒歩約4分
  - 7 今福菅原神社**  
 約0.2km 徒歩約4分
  - 8 青面金剛(庚申塔)**  
 約0.8km 徒歩約16分
  - 9 いも掘り観光(今福地区)**  
 約0.5km 徒歩約10分
  - 9 いも掘り観光(大東地区)**  
 約0.4km 徒歩約8分
- 今福バス停** 西武バス 本55系統 約8分  
**向ノ原バス停** 西武バス 本54系統 約12分
- 川越駅西口**

**2 松平伊豆守が開発した新田**

1639年、松平伊豆守信綱が川越入封したときから新田開発が始まりました。新田開発以前は、草地・芝地で開発不能地といわれ、「入合秣場(いりあいまぐさば)」(馬や牛の飼料にする草刈り場)として使われていました。

**5 今福地藏尊**

明見院にいたる国道沿いの小さなお堂にある2体の地藏のうち、右側が今福地藏尊です。

**7 今福菅原神社**

毎年4月15日・10月15日に県指定無形民俗文化財の「今福川越まつりばやし」が行われることで有名です。今福の囃子は、ほかの囃子に比べゆっくりとした調子であるのが特徴です。

**6 明見院**

樹齢200年以上のしだれ桜が有名。川越景観百選にも選出されており、例年3月下旬～4月上旬が見頃です。また、山門の前にある「苦惱を救う一休さん」の像が人気です。

**8 青面金剛(庚申塔)**

9世紀に作られたこの青面金剛像は、頭と胸にある鬚髯の飾りが特徴的な庚申塔で、今福菅原神社の敷地の角にあります。

**9 いも掘り観光(今福地区)**

武蔵・中川・坂本・山田の4つの農園があります

**9 いも掘り観光(大東地区)**

あらはた園・荒幡農園

**9 いも掘り観光**

江戸時代から盛んに栽培されるようになったサツマイモは、その質の良さから今日まで川越のシンボリック特産物となっています。観光農園が数多くあり、いも掘り体験ができます。

**1 砂久保陣場跡**

河越城を巡って上杉氏と北条氏が争った、「河越夜戦」において上杉憲政が陣を構えた場所と伝わるのがこの地です。

**3 武蔵野ふれあいの森**

武蔵野の面影を残す広大な雑木林で、野鳥などが多く生息しており、絶好の観察スポットとなっています。またエリアが広いので、迷子にならないよう注意が必要です。

**4 馬頭観音**

手入れがいきとどいた武蔵野ふれあいの森の木洩れ日のなか、交差点に素朴な馬頭観音が立っています。足元には花が飾られ、赤い手編みの前垂れをつけています。

砂久保稲荷神社内にあります

**1 砂久保陣場跡**

砂久保稲荷神社内にあります

**3 武蔵野ふれあいの森**  
 森林内の遊歩道を歩きます

**4 馬頭観音**

南部エリアコース

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。